

子宮頸がん予防
啓発チャリティー

化粧品「ポーラ」

女性客の肌をチェックすることに、10円を子宮頸がん予防啓発活動に寄付します。

化粧品大手の「ポーラ」(中央区)が2、4月、販売活動を通じたチャリティー活動を実施している。

同社は百貨店の売り場や訪問販売などで、女性客の肌チェックをしている。大阪営業所の販売員から「仕事を通じて社会貢献した

い」と提案があり、肌をチェックすることに、同社が10円を社団法人「ティール&ホワイトリボンプロジェクト」に寄付することを決めた。

全国の営業所に約12万人の販売員がおり、寄付は相当な額になる見通し。ポーラ銀座店店長の米田千春さんは「お客さまの肌の細胞を採取して、きめ細かくチェックしていきます。それで貢献できるなんてうれしい」と話していた。

【小島正美】